

# 企業訪問 循環型最前線レポート

(株)藤総合センター

## 選別・分離リサイクル装置を 開発、製造、販売で 新分野に果敢に挑む

(株)藤総合センター

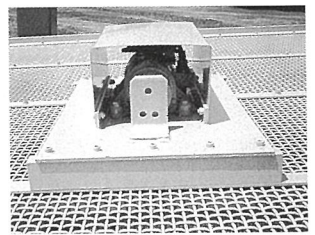


代表取締役社長／藤井やよえ

■所在地／安城市柿碓町向ヒ1番地 ■設立／平成9年11月25日  
■資本金／10,000,000円 ■従業員／16名  
■事業内容／残土の分離リサイクル装置の製造及び販売、産業廃棄物・一般廃棄物の再生処理業（プラント設計・施工）、不動産の賃貸・管理・保有並びに運用、土木工事・解体工事

### 中間処理業者の経験とアイデアを活かして

(株)藤総合センター（安城市柿碓町向ヒ1番地／藤井やよえ代表取締役社長）は産業廃棄物の収集運搬、中間処理業の選別作業で培った経験を活かし、選別装置の機械化に取り組み、開発製造部門をつくり、自社ブランドの販売にのり出したユニークな会社です。選別・分離リサイクル装置を開発。そのために専用工場を愛知県宝飯郡音羽町、国道1号線沿いに5,000m<sup>2</sup>を確保。工場内にはすでに機械の説明用につくられた選別・分離リサイクル装置が周辺装置と共に展示されているほか、職人により手作りの生産が行われていました。同装置は、土や混合物（がれき類、木くず、紙くず、繊維くず、自動車破砕物を除く金属くず、廃プラスチック類、ガラスくず及び陶磁器くず）を自動的に選別するもので、網目面と振動装置が一体に組込まれ、分離網目面の角度（傾斜）を変えるだけで3mm～100mmのサイズに選別。90%リサイクルが可能。さらに、振りタタミ構造で移動も簡単にできるすぐれものです。安城市にある本社に藤井社長をたずねてお話しを伺いました。



藤井やよえ／代表取締役社長

「選別・分離リサイクル装置は中間処理業者ならではの現場志向とアイデアで製品化したものです。破砕機、選別装置、粉塵カバー、発電機、プラント

型スペースが一体化したもので、選別装置は特許（第3515778号）を取得。国際特許も現在出願中です。また、残土、碎石混合物のリサイクル装置としても特許（第3294786号）を取得しました。当社の頭文字をとって自社ブランドFシリーズとして4機種（F1000型、F1500型、F2000型、F3000型）をラインナップさせています。

同機は建設技術フェア2002in中部（ナゴヤドーム）、2003NEW環境展（東京ビッグサイト）に出展し、多くの方に注目を集めました。販売先はリサイクルセンターの選別リサイクルプラントや建設現場、解体現場での残土、分離に活躍するなど納入先からの評価は高く、各方面からの問い合わせも多くあります。」と販売への手ごたえは十分と語ってくれました。同社では、国内はもとより海外市場も視野に入れ、この他にも振動ホッパーFH-4、風力循環式選別装置など周辺装置の開発製造にも力を入れています。建設業、中間処理を行うリサイクルセンター、解体業者へのPRに力を入れるほか、海外版パンフレットをつくり、海外市場への販売にも意欲的に取り組んでいます。廃棄物の選別を機械化することでスピーディな処理が可能となり、リサイクル率の向上に大きな成果を上げています。設置に要する時間はタイプによって多少異なるがF1000型なら半日、F3000型で3～4日で稼働できるそうです。

今後の目標は1ヵ月1台の生産・販売を目指し、製造メーカーとして新しい分野に果敢に挑む（株）藤総合センターです。



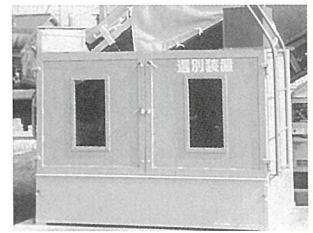
選別・分離リサイクル装置 F1000型



選別・分離リサイクル装置 F2000型



振動ホッパー FH-4



風力循環式選別装置 FS-1.5

